

エアコンを活用して、夏を快適に過ごしたいけれど、電気代が高くなってしまうと考える方も多いと思います。

エアコンは、夏の消費電力の4割弱を占めています。が、我慢をして使わないでいると熱中症の危険もあります。そこで、今回はエアコンの消費電力を抑えながら快適に夏を過ごす方法をご紹介します。

エアコンの上手な
使い方を紹介！



省エネ・節電になる

エアコンの上手な使い方

その① エアコンのフィルターはこまめに掃除！

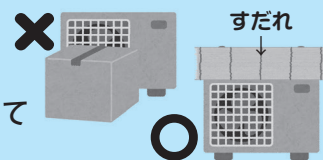
エアコンのフィルターは、2週間に1度をめどに掃除をしましょう。フィルターのほこりは、水洗いをするか掃除機で吸い取りましょう。フィルターが目詰まりしているエアコンでは、冷房の効果が下がり、無駄な電気を使います。6畳用のエアコン（2.2kw）のフィルターを掃除した場合、夏期間では約300円の節約にもなります。※使用期間：夏期間3.6カ月間（6月2日～9月21日）



その② 室外機の周りに物を置かない（通風路の確保）

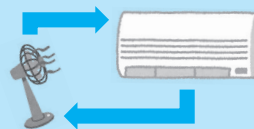
エアコン室外機の周りに物を置くと、冷房の効果が下がってしまいます。室外機の吹き出し口付近やその周りに物を置いたり、カバーで覆ったりしていませんか確認してみてください。

また、吹き出し口をふさがないようにすだれなどで日影を作ってあげると、さらに省エネに繋がります。



その③ 扇風機やサーキュレーターを併用して空気を循環

空気は、温度が高いと上へ、低いと下へ行こうとする性質があります。そのため、エアコンをつけたときも下のほうだけが冷やされる「温度むら」ができます。「温度むら」ができているとエアコンは部屋の上の温かい空気を吸い込んで、設定温度に達していないと勘違いして部屋を冷やしすぎてしまいます。そこで、エアコンの風向きを上方向や水平方向に調整したり、扇風機やサーキュレーターの風を天井に向けてあてたりして空気を循環させましょう。



その④ 電源の入り切りは使い分けよう

- ・設定温度に到達したらエアコンを切り、10分程度でまたエアコンをつけるより、自動運転でつけっぱなしにしたほうが、消費電力量が少なくお得です。
- ・長時間の外出をする場合は、エアコンをつけっぱなしにするより、エアコンを切って外出し、帰ってきてからつけたほうが、消費電力量は小さくなります。

エアコンを上手に使って、おサイフにも優しく、省エネにもなる、快適な夏を過ごしましょう。

（出典：政府広報オンライン）



町では、脱炭素化を推進するため、「省エネエアコン購入支援補助金」と「LED照明器具買換等奨励金」を実施しています。ぜひご利用ください！詳しくは、町広報5月号をご確認ください。

町ホームページにも掲載していますので、左記のQRコードからもご確認いただけます。